

会社名 太 陽 誘 電 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 川田 貢
 (コード番号 6976 東証第1部)
 問合せ先 コーポレート統括 次長 大嶋 一幸
 (TEL. 03 - 3832 - 0101)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 14 年 11 月 13 日の中間期決算発表時に公表した平成15年3月期
 (平成14年4月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、
 お知らせいたします。

記

1. 15 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14 年 11 月 13 日 発表)	153,500	8,000	6,500	1,800
今回修正予想(B)	153,700	8,100	7,200	2,900
増減額(B－A)	200	100	700	1,100
増減率	0.1	1.3	10.8	61.1
前期(平成 14 年 3 月期)実績	152,057	6,190	9,965	6,320

2. 15 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 14 年 11 月 13 日 発表)	123,000	△ 8,600	2,800	1,800
今回修正予想(B)	116,500	△ 6,700	4,500	3,200
増減額(B－A)	△ 6,500	1,900	1,700	1,400
増減率	△ 5.3	—	60.7	77.8
前期(平成 14 年 3 月期)実績	105,681	△ 11,668	△ 1,375	△ 867

3. 平成15年3月期の業績予想を修正する理由は以下のとおりであります。

中間期決算発表時点の予想に対し、日本で生産を行っている大容量積層セラミックコンデンサの先端商品(小型大容量品)が、ノートパソコンや携帯電話端末において、想定以上に採用が進みました。このことが単体の営業赤字改善に寄与する見込です。さらに、中間決算発表時点では上半期実績に対して約4億円の増加を見込んでおりました単体の下半期販売費及び一般管理費を、上半期実績に対して約3億円削減できる見込であり、やはり単体の営業赤字改善に寄与します。これらの結果、単体の営業赤字改善、経常利益および当期純利益が、中間決算発表時点の予想を上回る見込となりました。

また、単体の営業赤字改善および経常利益が中間決算発表時点見込を上回ったことにより、単体および連結の実効税率が想定値を下回る見込となりました。この結果、連結の当期純利益も中間発表時点の予想を上回る見込となりました。

以上のような理由から、当期の業績予想を上記のように修正いたします。

なお、為替レートは、上半期実績1US\$＝124. 9円、中間決算発表時点における下半期想定1US\$＝120円、通期想定1US\$＝122円に対して、下半期実績は1US\$＝121. 0円、通期実績は1US\$＝123. 0円となりました。